

## 令和7年度 第2回入札監視委員会議事概要

日 時 : 令和7年11月17日(月) 13時30分～15時00分  
場 所 : 四街道市役所本館 1号棟4階 会議室  
出席者 : 村上洋一委員長、喜多紀彦委員、井上克彦委員  
事務局 契約課長、契約課職員3名  
発注課 クリーンセンター、環境政策課、政策推進課、市街地整備課 各課  
長及び担当職員

### 【概 要】

1. 開会
2. 議題

入札・契約等の実施状況について

- (1) 入札等契約手続状況報告(令和7年度上半期)  
事務局より令和7年4月1日から令和7年9月30日の間に契約課で執行した  
発注方法・業種別契約件数を報告
- (2) 抽出事業の審査  
別紙のとおり
- (3) 指名停止の運用状況について  
事務局より令和7年度上半期状況について説明

3. その他  
令和7年度上半期の再苦情申し立てなし

4. 閉会

別紙

意見・質問	回答
<p><b>抽出事業1 指名競争入札</b>  <b>【資源有価物売払（古紙類）】</b></p> <p>○対象となる量はどのぐらいか。</p> <p>○業務内容は回収したものを再生工場に持っていくということか。</p> <p>○設計の際に見積はとっているのか。</p> <p>○サービスを提供できる業者が少ないことは理解できるが、当該二者について事業継続性に問題はないか。現時点では二者いるため指名競争入札が成立しているが、仮に一者が事業を停止した場合には、随意契約となるのか。</p>	<p>○令和7年度については、設計として見込んだ量は雑紙380トン、新聞180トン、雑誌470トン、段ボール740トン、ウエスが260トンである。</p> <p>○回収したものを再生工場に1日数回搬入している。搬入可能な時間内に往復できる距離であること、また路上待機せずに搬入できるだけの十分な広さの搬入場所を有していることが条件となる。これらの条件を満たす業者は現状では当該二者のみであるため、指名競争入札としている。</p> <p>○見積はとっていない。回収量と直近単価（半期に一度把握）を用いて担当課で設計している。</p> <p>○現状としては、業者が一者になった場合は随意契約になる見込みである。</p>

別紙

意見・質問	回答
<p><b>抽出事業 2 随意契約</b></p> <p><b>【四街道市栗山地先水質等状況調査委託】</b></p> <p>○この業者が事業をやめた場合、同様の対策を立てられるノウハウは市に蓄積されているか。</p> <p>○現契約業者が唯一の業者であるというのは、切替コストが高いという意味か。</p> <p>○この業者の事業の継続性は問題ないか。</p> <p>○水質汚染要因特定やモニタリング、改善計画は毎年行っているか。</p> <p>○浄化施設は市の施設か。</p> <p>○汚染が落ち着くまでの時間は見込まれているか。</p>	<p>○市では過去の水質検査結果・考察を整理しており、それらを踏まえ判断することになる。新たな事業者が別アプローチをとることもありうる。</p> <p>○過去の審査会においても、検査のみであれば随意契約とする必要はないとの意見が出ていた。しかし、検査と考察を分離した場合、考察を担当する業者が現地調査等を追加で行う必要が生じ、結果としてコストの増大につながると考えている。</p> <p>○問題ないと考えている。</p> <p>○汚染要因特定は毎年実施し、モニタリングしている。改善計画は問題発生当時に策定されたもので、毎年策定しているわけではない。</p> <p>○市の施設ではない。また、地権者の土地を使用し、水を循環させて汚染物質を除去する仕組みを浄化施設と位置付けている。</p> <p>○20年で落ち着くケースもあると聞いているが、現状は悪化も改善もせず、横ばいの状態が続いている。</p>

<p>○別の事業者の視点をいれる考えはあるか。</p>	<p>○これまで様々な改善策が提案されているが、いずれも高額で、市としては対応が困難である。そのため現状では、モニタリングを中心に汚染物質が流出しないよう監視する体制を維持するとの判断をしている。また、当該事業者が一旦本件から手を引いた場合、再び関与してもらえない保証がない点も懸念されることから、当面は現状を維持したいと考えている。</p>
-----------------------------	---

別紙

意見・質問	回答
<p><b>抽出事業3 一般競争入札</b></p> <p><b>【四街道市市民意識調査業務委託】</b></p> <p>○落札率が非常に低いが、各業者の条件は同じか</p> <p>○落札業者だけが特に低い落札率だが、調査結果に問題はないか。</p> <p>○調査は毎年実施しているのか。</p> <p>○回収率はどのくらいで、例年と比較してどうか。</p> <p>○次回の設計で、今回の落札金額を基準とするのか。</p> <p>○設計の際に徴取した見積りに今回の落札業者は含まれていたか。</p> <p>○落札率低下の要因はどう考えるか。</p>	<p>○（事務局） 公告時に仕様書を提示しており、同一条件である。</p> <p>○まだ業務は完了していないが、現時点での履行に問題はない。</p> <p>○四街道市総合計画の中間年や策定年など数年に一度実施する調査である。</p> <p>○回収率は57%である。前回から約1.5%上昇しており、インターネット回答導入の影響と考えられる。</p> <p>○複数社からの見積りと県の積算基準単価を用いて設計しており、今回落札額を基準とはしない。</p> <p>○含まれていない。</p> <p>○業者の手持ち案件の状況やAI・デジタル技術による省力化の影響が要因として考えられる。</p>

<p>○調査内容は毎回変わるのか、誰が設定しているのか。</p>	<p>○一部変更はあるが基本部分は変えず、経年比較可能としている。調査項目は基本的に市が設定している。</p>
----------------------------------	---

別紙

意見・質問	回答
<p><b>抽出事業4 一般競争入札</b>  <b>【中台4号線道路改良工事】</b></p> <p>○対象18者中3者が手を挙げ1者のみ入札という状況だが、同様の状況が続いているか。</p> <p>○入札参加が少ない原因は何か。</p> <p>○対象業者の18者というのは事業者として活動している業者か。</p> <p>○本工事は整備計画等に基づく工事か。</p> <p>○市内業者の受注機会を増やす事業なのか。</p> <p>○入札参加状況が低調で地区区分設定に疑問があるがいかがか。</p> <p>○市内業者に発注する際の基準はあるか。</p>	<p>○同様の工事では不調や一者入札が多い状況である。</p> <p>○道路改良工事は黒字になりやすく、特に法面が技術的に難しい。また、手持ち工事が多いと技術者不足になりやすい。</p> <p>○（事務局）  四街道市の入札参加資格者名簿に登録され公告要件を満たす18者である。名簿は2年に1度更新している。</p> <p>○順次整備している路線ではなく、区画整理に伴い実施に至った路線である。</p> <p>○市内業者の技術向上を市にとって有益と捉え、類似の工事やこれよりも小規模な工事は市内業者に限定して発注している。</p> <p>○市内業者でも施工可能な難易度と判断して市内限定としており、困難な場合は段階的に地区区分を広げる考えである。</p> <p>○一般競争入札資格要件設定基準により、対象業者数や金額に応じて地区区分を市内</p>

<p>○7月公告・12月完成という工期は短くないか。</p> <p>○工期を長めに設定し、対応できる業者を増やすことはできないか。</p> <p>○原材料・人件費高騰は積算に反映されているか。</p>	<p>とする目安がある。</p> <p>○適正工期算出方法に従い設定しており、その工期を前提としている。</p> <p>○当初の工期設定は、工種ごとに積上げ、適正工期を算出しているため、その工期を伸ばす理由は乏しい。施工中に必要があれば、協議により延長は可能である。</p> <p>○国の積算基準が毎月更新されており、その時点の最新単価で積算している。</p>
--	--

## 委員講評

- 抽出事業1について、引き続き受け入れ業者を探す努力が必要であると思われる。
- 抽出事業2について、随意契約を継続する場合、新規事業者の参入など新たに競争性が生じていないかを確認することが望ましいと考えられる。
- 抽出事業3について、総合的に見て、落札率が不自然に低いため、今回の落札業者の価格は今後の基準としない考えでよい。
- 抽出事業4について、地区区分設定は、登録業者数だけでなく応札実績も踏まえる等、今後の検討課題としてほしい。